

タイトル	2020 年度 推薦入試 教育学部 保健体育専攻 面接・小論文問題
評価の ポイント	<p>(面接) 教育および保健体育に関する基本的知識や課題に対する思考力、判断力、表現力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題に対する基礎的知識と理解度 ・ 論理性 ・ 表現力 ・ 将来性 (大学の学びに対して意欲的であるか) <p>(小論文) 保健体育に関する総合的な思考力、問題発見および解決能力等を評価した。評価に当たっては、次のような点を特に重視した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みる」スポーツおよび「支える」スポーツについて「具体的な事例」をあげている。 ・ 「みる」スポーツおよび「支える」スポーツが「どのような意義」をもつかを論じている。 ・ 内容 (記述内容の正確さ、発想の豊かさ等) ・ 考察力 (考察の妥当性、深さ) ・ 論理能力 (論理展開の正確さ、論旨の明確さ) ・ 文章表現能力 (文章表現の豊かさ、正確さ) <p>【解答例】 スポーツへのかかわり方のうち、「みる」スポーツは、競技場などでスポーツを観戦したり、メディアを通してスポーツを楽しんだりするかかわりがあげられます。国際スポーツや情報網の発達によって、スポーツを「みる」ことは世界規模で展開されています。国際的なスポーツ大会であるオリンピックやワールドカップなどは世界中の地域で億単位の人に観戦されています。特定のスポーツチームやアスリートを応援する喜びを感じたり、人間の身体活動そのものに偉大さを感じたりします。そうした行動を他の多くの人々と共有し、交流が生まれることも「みる」スポーツの魅力の一つです。</p> <p>「支える」スポーツでは、スポーツ指導者や大会運営者、各種スポーツボランティアとしての活動などがあります。2020年の東京オリンピック大会では、大会ボランティアだけで約8万人のボランティアが活動することが計画されています。スポーツに対して「支える」という立場でかかわることで、国際交流が行えることやそうした活動自体が自己実現につながることもあるでしょう。</p> <p>スポーツを「みる」ことで関心を持ち、実際に取り組むことや活動を支援することにつながる考えられます。また、今後の社会においては「支える」スポーツが地域コミュニティを再形成することに貢献できるのではと期待されています。スポーツ文化の醸成に向けて、多様なスポーツのかかわりは大切なことだといえます。</p> <p>(591 字)</p>